

事務事業名 県指定天然記念物「立明寺のタブノキ」保存事業

出力日：令和08年03月16日

キーコード：1783

施策：	06	歴史の継承と文化の振興	財務コード	--
基本事業：	01	文化財の保護・利活用の推進	担当部	教育部
基本事業の成果指標	市内の文化財指定件数（累計） 市民等が触れることができるよう整備活用されている史跡等の数（累計）		担当課	文化財課
			担当係	保存活用担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成28年度 ~		新規・継続	継続	会計区分			実施計画	
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
市内の文化財			県指定天然記念物「立明寺のタブノキ」を適切に保存するため、適宜有識者の指導を受けています。樹齢200年程度で、木の成長段階として樹形が上部ではなく、横へ成長する時期に入っているため、概ね5年毎に剪定を行い、上部の落枝の防止（周辺の安全確保）と樹勢を維持しています。 （これまでの対応）福岡県文化財保護事業補助金（補助率50%） 平成28年度：樹木医の鑑定・枝打ち・消毒 平成29年度：木の成長を妨げないよう壁の切り取り工事と解説板設置 歳入：福岡県文化財保護事業補助金（補助率50%） （令和6年度の対応） 指定木の環境整備（電線切断防止、落枝を防止することで通学路の安全確保）のために剪定した。 令和6年度：剪定 歳入：福岡県文化財保護事業補助金（補助率50%）						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
対象文化財を保護し、活用を図ります。									
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度	目標
			実績	実績	当初	要求	計画	計画	
事業進捗割合									
5. コスト									
事業費		計	千円		770				
		国	千円		0				
		県	千円		385				
		地方債	千円		0				
		その他	千円		0				
		一般	千円		385				
正職員人工数		人工		0.2					
正職員人件費		千円		1,605					
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円		2,375					
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている		令和6年度に電線に係る部分や、落枝の危険がある箇所を剪定を行うことで、環境を改善しました。また、通学路等の道路の安全も確保されました。							
どちらかといえばあがっている									
あがっていない（停滞・低下）									
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	なし						
成果向上余地	中程度								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）					改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
県指定天然記念物として、今後も樹木医等の有識者の指導を受けながら、管理計画書にもとづき、概ね5年周期で剪定を行い、適切に保存していきます。									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）					備考・特記事項 or 進行管理欄				
樹木医等の有識者の指導を受けながら、概ね5年周期で剪定を行うことで、県指定天然記念物として樹勢を維持し、落枝等の環境の改善を図っています。平成29年度には解説板を設置し、文化財としての情報を発信できるようになりました。					福岡県文化財保護事業の「県指定天然記念物再生事業」補助金（補助率50%）				